

# NO P NEWS

2013年初春号

18

ニュー・オペラ・プロダクション

〒168-0064 東京都杉並区永福 3-20-3 TEL: 03-3328-0817 FAX: 03-3328-0655  
e-mail newopera@jcom.home.ne.jp URL http://members.jcom.home.ne.jp/newopera

## 明けまして、おめでとうございます。



東邦音大「魔笛」ザラストロ(中央奥・佐藤泰弘)と魔笛を掲げる夜の女王が祝福するフィナーレ

爽快な希望に満ちた新春を迎えたいとの願いも空しく、混迷混濁の政界を反映して世情は不安さを増し、人心は荒れ、いやな事件が頻発しています。しかし、当プロダクションは昨年も多くの方々のお力添えで、オペラの普及に励んでまいりましたが、今年もまた、蟻蜂の斧とは知りながら力の続く限り音楽を通して、より多くの人々に安らぎと、明日への活力をお届けすべく懸命の努力を続けますので、相変わらずのご支援、ご声援のほど、お願い申し上げます。

代表 杉 理一

## 東邦音楽大学オペラ定期公演「魔笛」

2月4、5日、東邦音大、グランツザール、2月10、11、12日、めぐろパーシモン公演で、総監督の故畑中良輔氏からの要請で舞台制作と演出、それに原語歌詞の字幕と日本語詞台本を担当。丁度、同時期、オーケストラ・アンサンブル金沢から依頼の北陸三都市提携「テレフォン」「泥棒とオールド・ミス」三公演の制作協力と演出も担当、立稽古の時間が入り組み、超多忙な日々を送りましたが、いずれも無事に公演を終了。

特に、「魔笛」は場面数も出演者数も多く、ダブルキャストの上、合唱も舞台経験のない学生や高校生による公演でしたから、動き一つつけるのにも苦労しました。また、大学内のグランツザールはコンサート用ホールで、めぐろパーシモンと舞台の大きさも機構も全然違い、セットを組むのも大変、出演者も出入りする場所や演技スペースも違うのに、選材の歌手、合唱、スタッフ達がよく頑張ってくれたと思います。

今回はタミーノ王子を、国の生産性より国民の幸福度を重んじるブータンの国

に目をつけ、その国の王子にしようとしたところ、丁度、そのブータンから新婚の国王夫妻が来日され、大きな話題になりました。また、ババゲーノとババゲーナの子どもに幼稚園児達が沢山出演。舞台を駆け回って可愛いらしいと拍手大喝采。普通は地獄に墮ちる夜の女王達もタミーノとパミーナに祝福を与え、全員ハッピーな幕切れにしました。



夜の女王(山田綾子)が、パミーナへ「これでザラストロを殺せ」と短剣を渡す



パバゲーノ(伊藤和広)とパバゲーナ(岩見真佐子)の産んだ男からヒヨコが孵る



魔法の笛を手に火と水の試練に立ち向かうタミーノ(大概孝志)とパミーナ(大島洋子)

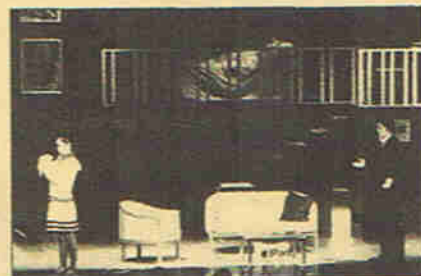
## 北陸三都市『テレフォン』・『泥棒とオールドミス』

NOP第6回公演で森公美子さんが主演、爆笑の渦を巻き起こして評判の高かった「泥棒とオールド・ミス」を、今度は人気者の中島啓江さんの主演で北陸の三都市（石川県金沢市、富山県射水市、福井県坂井市）でと、オーケストラ・アンサンブル金沢から注文を受けての再演でした。前回同様、同じメノッティ作曲の「テレフォン」との併演で、中島さん以外は現地の歌手の出演でした。「テレフォン」は本体と受話器がコードで繋がれ、本体も壁からのコードで繋がっていた古い時代の作品なので、前回公演の時は、ベン青年が恋人ルーシーを喜ばせようと持ってくるプレゼントを携帯電話にしましたが、今回は更に今風にアイパッドにしました。金沢、射水、坂井の三都市ではそれぞれの若手歌手が好演、短い作品ながら観客から熱い拍手が送られました。

「泥棒とオールド・ミス」の方の稽古はスケジュールのたて込んでいる中島さんに合わせ、殆ど東京で行われましたが、私にも東邦音大の「魔笛」の稽古があり、その調整に苦勞しました。しかし、稽古を始めて分かったことは、オペラに余り慣れてない中島さんが、忙しい事もあって、結構むずかしいメノッティの音楽をこなさず、その上、風邪をひいたり足を痛めたりで、千秋楽の坂井の公演が終わるまで毎朝、ヒヤヒヤの連続で、中島さんの迷える演技力と必死の努力、それに客席の温かい拍手によって、どうやら救われた公演でした。



ルーシー（本田美穂子）とベン（山下哲弘）電話が邪魔するプロポーズ



ベンの出発時間が迫っているのにルーシーは相変わらずの長電話



風来坊ボブ（羽瀧浩樹）を歓迎するトッド（中島啓江）とレティーシャ（石川公美）



情報屋ピンカートン夫人（長澤幸乃）から「町へ泥棒侵入」と聞き仰天するトッド



「泥棒とオールド・ミス」のカーテンコール

ふりそ 2013

### 2月 尼崎『末摘花』〈ニュー・オペラシアター神戸 主催〉

榊原政常原作「しんしゃく源氏物語」に基づき寺嶋隆也が作曲した「末摘花」は、2006年、三菱信託音楽奨励賞を受けた初演以来、和歌山や岐阜での公演を含め4回再演を重ねてきました。今回は尼崎アルカイク・ホールで新たに女声合唱を加えた版の初演です。顔は醜くても、ひたすら源氏の君を待ち続ける姫の真心が多くの人の共感を呼ぶことを願っています。

### 9月 和歌山『末摘花』(和歌山市民オペラ協会 主催)

2011年9月、和歌山市民会館での前回公演が大変な評判を呼び、「是非、もう一度、見たい」との多くの希望に応える再演です。主宰の多田佳世子さんを中心に、心を一つにした地元歌手皆さんの更にレベルアップした白熱の舞台が期待されます。



叔母（久保美雪）と乳母（山田美佳）と末摘花



末摘花（中谷恭子）と侍従（井谷有紀）  
〈前回公演から〉

#### 実現を模索中の計画二つ

#### ワンスモア・コンサートをワンスモア？

#### 思い出のNHKイタリア歌劇公演講座 アンコール？

昨年9月のワンスモア・コンサートが満員の盛況で、来場のお客様から「是非、また、やって」との声が多数寄せられ、心中、穏やかではありません。

思い出のNHKイタリア歌劇公演講座は、短時間で、お見せしきれなかった映像が多く、「オペラのもっと他の部分も見たい」とのご要望が多く、これも「何とかしなくては」と嬉しくもあり、悩ましくもあります。

## NOP ワンスモア・コンサート

2010年のNOP創立20周年に、1995年以来続けてきたNOPコンサートが丁度、50回に達し、ご紹介したオペラ界第一線で活躍する歌手が丁度100人に達したのを区切りとして、自主コンサートは打ち止めにするつもりでいましたところ、昨年2月、東邦音楽大学公演「魔情」でご一緒した畑中良輔さんが公演から3か月後の5月24日に、90才のご高齢で逝去されました。私と畑中さんとはNHK在職中からのお付き合いでしたが、NOP創立直後の藤沢市民オペラ「ファウスト」で私が演出を担当した時、音楽監督にご出馬をお願いして以来、神戸、水戸などで数々のオペラでお付き合いさせていただきました。日頃から、敬愛していた方でしたので、その訃報に接し、畑中さんと最後にご一緒した「魔笛」で、夜の女王をみごとに演じた新進ソプラノの湯浅桃子さんに畑中さんが特に目をかけておられたことを思い出し、併せて、かつて五島記念文化財団新人賞授賞パーティで、選考委員長だった畑中さんが私に推挙され、その回の新人賞を獲得されたテノールの岡田孝志君のことも頭に浮かび、畑中さんへの感謝と哀悼の思いを込めてNOPコンサートをもう一度（ワンスモア）と決心した次第です。二人は期待に応えて熱唱、谷池重袖さんの伴奏も素敵で、お客様にも大変喜んでいただくことが出来ました。



2012年9月2日<音楽の友ホール>  
終演後に左から湯浅桃子、岡田孝志、谷池重袖、杉

## 十字屋 午後のサロン

銀座の十字屋9階のホールは、第2回から第40回までのNOPコンサートの会場として愛用してきた懐かしい場所ですが、収容人員のこともあり、その後、NOPコンサートは神楽坂の音楽の友ホールへ移りました。しかし、十字屋ホールでは現在、月に1回のペースで、有名人のトークとミニコンサートを組み合わせたイベントを行っています。案内役の十字屋社長の中村千恵子（通称、マダム中村）は私の従兄弟の娘ですが、彼女から頼まれ、丁度、住んでいるロサンゼルスから日本に遊びに来ていた姉（杉葉子）に出演の依頼があり、10月16日の午後、「青い山脈」を中心に映像を見ていただきながらのトーク・ショーをやりました。そして、私には、その後に続くミニコンサートのコーディネイトを頼まれたので、新国立劇場でも活躍する注目のテノール、小貫岩夫君に無理を言って頼み込み、得意のカンツォーネ、日本歌曲、オペラ・アリア等を歌って、満員のお客さんに喜んで貰いました。伴奏は原好香さんでした。



原好香のピアノ伴奏で歌う小貫岩夫

お喋りする杉葉子

## 昭和音楽大学での特別講義「私の生んだ4つの日本オペラ」

昭和音楽大学からアートマネジメント専攻の学生対象に、「NHKが海外に発信したオペラ」について講義して欲しいという依頼を受け、昨年11月27日の午後、同大学の新百合が丘キャンパスで1時間半足らず、ビデオ映像の上映まじりの講義をしました。世界で唯一のテレビ・オペラの国際コンクール、ザルツブルク・オペラ賞で1971年に2位相当の優秀賞を受賞した「死神」と1974年にグランプリを獲得した文楽人形オペラ「鳴神」を中心に、それ以外に私がNHK退職後、企画制作、演出した舞台公演の「耳なし芳一」「末摘花」も含めた四つのオペラの、主として企画について話をしました。しかし、ちょっと欲張り過ぎ、映像と私の一方的お喋りで時間が一杯になり、若い学生達ともっとお喋りをしたかったのに、その時間がとれなかったことが、とても残念でした。

## オペラ・ビデオ鑑賞会講座 思い出のNHKイタリア歌劇公演

10月27日から毎土曜、4回に亘り東京文化会館のご協力を得、その会議室で、1956年から20年間に8回、NHKが世界一流の歌手、指揮者、演出家を招聘し開催したイタリア歌劇公演の名舞台を他所では容易に見られない貴重な映像と珍しい舞台裏エピソードのお喋りで、大いに楽しんでいただきました。

このイタリア歌劇公演がスタートした時は、日本の社会に大きなカルチャーショックを与える大事件として、マスコミも大々的に報道し、公演に関わった日本人歌手、合唱、裏方スタッフ達は、そこで得た経験を、その後の活動に生かし、それが今日の日本オペラ界の隆盛に多大の貢献をしたと言われていますが、NHKにも、当時の公演の舞台裏や開発時代のテレビ放送の裏の苦勞を知る人の数も減り、忘れ去られ歴史の流れの中に埋没しつつあるのは大変残念で、数少ない生き残りの一人として、この講座を開催したところ、毎回40人以上の方が参加され、大変喜んで下さいました。アンケート調査では、来日した世界一流歌劇場公演や昔の日本人歌手達の映像へのご希望が多数寄せられました。



杉講師のトーク付きで、スクリーンに懐かしいイタリア歌劇の名場面が次々と映写されました



【トルヴァトーレ】ルーナ伯爵：バステアニーニ



【カルメン】カルメン：シミオナート、ドン・ホセ：アル・モナコ

## 静岡「グランシップ 音楽の広場2012」字幕監修

8月5日、グランシップ・大ホールでのオーケストラ伴奏によるオペラ・アリア集に急に字幕をつけることになったので、協力して欲しいという緊急連絡が1日に入り、そのいずれも私が以前、オペラ全曲の字幕監修を手がけた作品だったので、その日の内にチェックしてメールで送り、主催者から大変感謝されました。

## 全日本オペラ・ネットワーク主催 東京オペラ・フォーラム開催報告

7月31日、東京文化会館、大会議室で助成金問題をテーマにした東京オペラ・フォーラムに全国各地から約40名の出席者が参加し開催されました。全日本オペラ・ネットワーク運営委員会の杉委員長挨拶に続き、芸術文化振興会から出席の企画調査課長、鈴木秀樹氏、プログラム・ディレクター前和男氏、プログラム・オフィサー岸田生郎氏から芸術文化振興会の助成を行うに当たっての態勢につき、詳細な説明をしていただいた後、各地からご参加のオペラ団体からの活発な意見発表などあって、3時間に亘るフォーラムを無事終了しました。

### NOP(ノップ)友の会へご入会、ご継続のお願い

ニュー・オペラ・プロダクションは、社会全体の厳しい経済状況の中で、多額の資金を要する自主オペラ公演は当面控え、またオペラ界第一線で活躍する歌手をご紹介するNOPコンサートも50回で打ち止めになりましたが、ご覧の通り、少ない予算でも高レベルの公演を制作する組織として、各地からの依頼公演が多く、新しい形のコンサートも企画中で、オペラを日本の新しい文化として根付かせるための活動は続け、懸命に頑張っていますので、このニュー・オペラ・プロダクションを応援しようと思われる方は、是非、友の会へお入り下さい、今まで応援下さった方は、どうぞ、引き続きお力添え下さるよう、お願い申し上げます。

友の会会費◆年会費：3,000円(毎年1月更新)

- 特典
- ①自主オペラ、コンサートにはご本人のみ500円程度の割引きでご優待します。
  - ②自主オペラ公演にはご優待席を確保します。
  - ③NOPの活動を随時、お知らせします。
  - ④NOPの関連公演に、主催者のご協力が得られた場合には、ご優待致します。
  - ⑤会員の懇親パーティ・コンサートに実費程度の低料金でお招きします。

【お申込み・お問い合わせ】ニュー・オペラ・プロダクション